

石狩川滝川地区水害タイムライン検討会(第9回)

平成30年度の試行運用に向けて「石狩川滝川地区水害タイムライン検討会(第9回)」を開催しました。検討会では平成30年7月出水での各関係機関の対応状況の説明や、滝川市より先駆けてタイムラインを策定した岐阜県多治見市より、防災・減災の取組の紹介がありました。

- 開催日時 平成30年7月23日(月) 13:30～16:00
- 実施場所 たきかわ文化センター(滝川市)
- 参加機関 滝川市等36機関

開会の様子

検討会には、各関係機関の防災担当者に加えて、オブザーバー、一般傍聴者など総勢約90名が参加しました。

最初に札幌開発建設部の大串事業調整官より、これからはタイムラインを「進化」させていく段階にあると挨拶がありました。

松尾座長からは、活発な議論をしてタイムラインを自分自身で活用できるようにしましょうと挨拶がありました。



開会の挨拶
札幌開発建設部 大串事業調整官

関係機関による取組状況・対応状況

札幌開発建設部の岩崎河川整備保全課長より「石狩川滝川地区水害タイムラインのこれまでの取り組みと概要」の説明がありました。

その後、事務局(札幌管区气象台、札幌開発建設部、滝川市)より、「平成30年7月の大雨に関する気象速報、石狩川下流の出水の概要、出水での各関係機関の対応状況」等についてそれぞれ説明がありました。

また、独自にタイムラインを作成している滝川市幸町第4区地区防災会の下道事務局長からも、連絡網を活用した伝達など防災会における対応状況の紹介がありました。

その後、滝川市の湯浅防災危機対策室長より「今年度のタイムライン試行運用方法」の説明や、札幌管区气象台予報課の森主任技術専門官より「降水予測情報の改善」について6月より降水15時間予報の提供を開始したことなどの説明がありました。



挨拶
松尾座長



幸町第4区地区防災会
下道事務局長

多治見市の防災・減災の取組

滝川市より先駆けてタイムラインを策定・運用している岐阜県多治見市企画部企画防災課の加藤危機管理監より「多治見市におけるタイムラインの取組」として、タイムライン策定に至る背景や検討プロセス、課題の改善策などについて紹介がありました。

多治見市役所では、タイムラインの策定をしたことで、①災害対応の明確化による防災意識の向上、②空振りを恐れない早めの避難情報等の発令、③検討会や災害対応実績を通じた関係機関との「顔の見える関係性」の構築等、タイムライン策定効果があったことの説明がありました。

質疑応答では「上流に位置する県の水位観測所データの活用方法」、「タイムラインの行動項目の詳細を記載する対応シートの運用方法」、「タイムラインを市民へどのように浸透させて、住民の避難行動につなげていくのか」などについて、活発な意見交換が交わされました。



岐阜県多治見市
加藤危機管理監

閉会の様子

閉会に先立ち、松尾座長より平成30年7月豪雨における、西日本の被害状況の報告がありました。

最後に、滝川市の湯浅防災危機対策室長より、西日本を襲った豪雨は決して他人事では無く、また、滝川市のすぐ上流では氾濫危険水位に達していた現実を心に刻み、今後のタイムラインに関わっていくことや、最後は逃げなければ命は守れないということが大切であると閉会の挨拶がありました。



西日本豪雨の
被害状況報告



閉会の挨拶
滝川市
湯浅防災危機対策室長